

麦の生育と管理

令和元年12月号

大分県北部振興局集落営農・農地活用第一班

◎晩播対策

降雨等により、適期（11月下旬）に播種が行えなかった場合は、下の表を参考に播種量を増やしましょう。

麦種ごとの播種量(kg/10a)

麦種	播種様式	適期(11月下旬)	12月上旬	12月中旬
小麦	ドリル播（条播）	6～7	7～9	9～10
	シーディングロータリー	7～8	9～10	10～12
大麦	ドリル播（条播）	7～8	9～10	10～14
	シーディングロータリー	8～10	10～13	12～15
裸麦	ドリル播（条播）	5～7	9～10	10～12
	シーディングロータリー	6～8	10～12	12～15

◎土壌酸度の矯正

麦は酸性土壌では、生育不良や黄化症状が発生しやすく収量が低下します。

最適な土壌酸度（pH6.0～6.5）にするために、土壌診断を行い苦土石灰等の土壌改良材を施用し適切な酸度矯正を行いましょう。

◎排水対策は実施しましたか？

麦は酸素を多く必要とし、湿害を受けやすい作物です。播種前に必ず排水対策を行いましょう。

本暗渠 + 額縁排水 + 弾丸暗渠

畦間と額縁排水溝をつなげていないと、水が畦間に溜まり、排水能力が十分に発揮できません。額縁排水と畦間、排水口を連結し、地表の水を確実に圃場外へ排出しましょう。

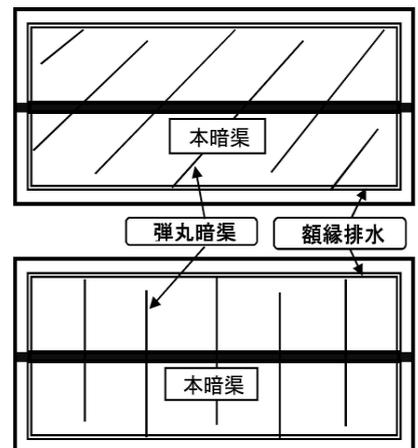


図1 弾丸暗渠施工方法
(上) 本暗渠に対して斜め施工
(下) 本暗渠に対して直行施工

※播種前に弾丸暗渠を施工していない場合は、1回目麦踏みの頃に施工しましょう！！

裏面へ

◎ 雑草対策

雑草対策は初期除草剤、土入れ、生育期除草剤の体系防除を徹底しましょう。

播種直後除草剤

薬剤名	使用時期	使用量（10aあたり）	使用回数	
クリアターン細粒剤F	播種直後（雑草発生前）	4～5kg	1回	
キックボクサー細粒剤F	播種直後（雑草発生前）	3～4kg	1回	
リベレーターフロアブル	播種後～麦3葉期 （雑草発生前～ イネ科雑草1葉期まで）	60～80ml ※薬害により白化する場合がある。 希釈水量 100l/10a	1回	
バンバン乳剤	小麦の場合	播種後～小麦2葉期 （雑草発生前）	300～400ml 希釈水量 100l/10a	1回
	大麦の場合	播種後出芽前 （雑草発生前）	300～500ml 希釈水量 100l/10a	1回

※ラベル等をよく読んで使用して下さい

◎ 麦踏みと土入れ

① 麦踏み

麦踏みにより、生育がそろい、節間長が短くなることで倒伏を防止します。

3葉期～莖立期までに3～4回を目安に（赤土圃場は2回）行いましょう。

土壤水分が多いと、麦の生育に悪影響を及ぼします。土壤が乾燥しているときを狙って、麦踏みを行いましょう。

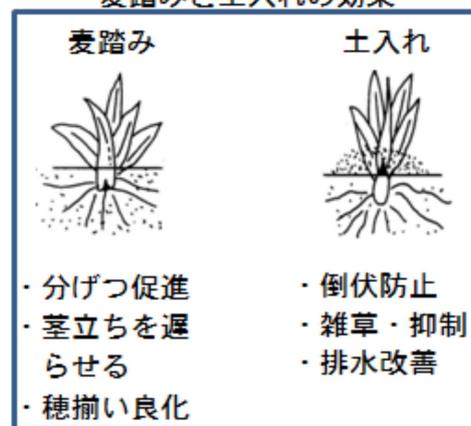
② 土入れ

土入れは、倒伏防止のほか、無効分げつを抑える効果もあります。

4葉期～莖立期までに2回を目安に行いましょう。生育過剰の際は回数を増やしましょう。

1回目は土を薄くかけてください。厚くかけてしまうと、麦の生育を阻害します。

麦踏みと土入れの効果



◎ 分げつ肥

分げつ肥を散布することによって、穂数が増加し収量向上につながります。麦の3～4葉期頃に窒素成分で2kg/10a施用しましょう。